

担い手通信 平成30年度第5回

【地域福祉の担い手育成推進委員会報告】

第12期地域福祉の担い手育成推進委員 全5回の講座が終わりました



〈第一回〉

市社協職員による茅ヶ崎市の
地域福祉の取り組み説明、
委員の自己紹介など



〈第二回〉

さわやか福祉財団の方を
講師に、地域での支え合いの
必要性を再確認

地域福祉の担い手推進委員会とは、「みんなつながる ちがさきの地域福祉プラン」に基づいた取り組みです。

委員会は、ただ地域での活動者を育成するのではなく、地域活動をけん引する人の育成を目的に、市内外の地域福祉活動を紹介しながら学び・共有を深めてもらっています。今年度で修了者は259名となりました。

第12期の皆様は地域アセスメントの手法、活用する方法について学びました。第5回の内容は裏面をご覧ください。



〈第五回〉
まとめと
修了式



〈第三回〉

地域のアセスメントをして
わかった地域財産を
カテゴリー別に分類



〈第四回〉

大和市鶴間地区の皆様を
講師に地域アセスメントの
活用事例を学習

これまでの委員会で学んだ視点を取り入れ、グループになり改めて、

- ・自分の地区について分かった事
 - ・その“分かった事”はこんな事に役立ちそう
 - ・こんな事をしたらどうかな？
- という3点を話し合うワークを行いました。



私の地区にはマンションや戸建てが多く出来ていて、**人口流入はあ**るよう。でも、**あまり交流が無い**のよね～。

それは私の地区も一緒だよ。若い方への**世代交代**が課題になってる。ただ、1人が沢山の役職を担っているから難しいんだよね。活動者同士の**横のつながり**は強いから、動けば早いのはいいところだけど…

イベントを企画すれば**参加者はいる**。特に**子ども向けの企画は好評**よ。お父さん・お母さんも来るから、顔見知りになれているわ。

地域財産
隠れてない？



自治会館、お寺、神社などを利用して、なるべく小地域で「フリーマーケット」をやってみよう！子ども服やおもちゃ、日用品を交換したら、住民に縦の繋がりが生まれ、親世代に対しても地域活動への協力意識を持ってもらえるかも！

地域の課題は
・地域住民の縦の繋がり
・地域活動者の世代交代だね。



おわりに…

地域アセスメントを行いそれを共有する事で、「自分の地域の新しい発見」を多く体験しました。地域活動は一人で出来ません。地域アセスメントを含めた話し合いから、多くの人でいろんな情報・アイデアを出し合い、活動の形作りをしていくことがとっても大切です。

「地域の未来づくりは話し合いから！」

この通信に併せて、第5回委員会で委員の皆様より上げられたご意見をまとめた資料を添付します。また、今回皆さんで取り組んだアセスメントシートの書式を市社協HPにアップしましたので、各地区での話し合いにご活用ください。その過程でお困り事が生まれたらお気軽に茅ヶ崎市社協までご連絡ください。各地区の担当者をご協力致します！どうぞよろしくお願い致します。

お問い合わせ：TEL0467-85-9650(茅ヶ崎市社会福祉協議会)